



先輩から本の寄贈がありました

11月21日(火)に指宿高校出身である5名の先輩と語る会を実施する予定です。そのなかのお一人である小園雅孝様(昭和49年卒、横浜市在住)から本の寄贈がありました。『21世紀に生きる君たちへ』(司馬遼太郎著)を各クラス文庫に1冊ずつ、そして、『人間というもの』(司馬遼太郎著)・『超訳 武士道』(松本道広著)・『女子の武士道』(石川真理子著)・『こども武士道(大切な教え・今日から実践の巻)』(講談社)を図書室に寄贈してくださいました。小園さんは大学で空手部に所属されていたようで、「もし指宿高校の生徒で空手をしたい生徒がいるなら、横浜から指導にきます!」というぐらい、指宿高校とその後輩に熱い思いをもっておられる方です。寄贈本を是非読んでください。

山口和士先生進路講演会感想文

7月21日に山口和士先生の生徒対象講演会が実施されました。その前日20日には教員対象、22日には保護者対象講演会がありました。生徒・保護者・教員、それぞれが成長し役割を果たすことで「3本の矢」が相乗効果を生み出し、「日本・鹿児島・指宿の未来を担い、新たな道を拓く若者」が育っていくのだと思います。ここに講演会の感想文を紹介します。振り返ることで、あのとき感じた想いを忘れず、あのときしようと思った行動を継続して欲しいと願っています。

本日は大変貴重なお話、ありがとうございました。先生の数々の実体験、特に子どもの頃のお話は、聞いていてとても感動し、途中涙が出ました。私には夢があります。たくさんの人と話をしたり、悩みを聞いたりすることです。この夢をくれたのは、中学のALTでした。今日のお話で“憧れを見つける”というものがありません。私はそのALTを心から尊敬しています。これからもそうし続けたいと思いました。また、私は家族から大学進学を否定されています。しかし、めげずに自分の意志を通したいと思いました。本当によい経験をさせてもらいました。ありがとうございました。(1年女子)

人生にはいつでも逆転できるチャンスがあるということを強く実感できた。山口さんの教え子の逆転劇を聞いてそう思った。今日山口さんが語ってくださった10の指針を心に刻み、実践していきたい。山口さんは、今日まで挫折や逆転等、様々な経験をしてきたということを知り感動した。年月はすぐに過ぎ去っていくものなので、自分の将来をはやく展望し、人生を楽しく豊かなものにしていきたい。自分はスマホが近くにあるといじってしまうので、勉強するときは自分の部屋に置かないようにする。進路は自分で定め、それに向かって日々努力していきたいと思った。山口さんの手を握るとやる気が出てきた。この気持ちを忘れずに毎日生活していきたい。(1年男子)



本日はありがとうございました。とても暑い中、上着を脱がず講演してくださったことがすごく印象深いです。私は少しでも山口先生の意見を知ろうと、常に顔を上げ、目を見るように努力しました。私の夢は決まっていない。そう思って今まで生きてきましたが、やりたいことはたくさんありました。そのやりたいことを最初から「無理だ。」そう決めつけていただけだと知ることが出来ました。そして、私のやりたいことが決まりました。それは、人に勇気を与え、笑顔にさせることです。山口先生のおかげです。また、お会い、お話しできる機会がくれたら嬉しいです。本日は本当にありがとうございました。(2年女子)

とても勉強になる、すばらしい講演を聴くことができ本当によかったです。ありがとうございました。私は将来なりたい職業が親からすると不安なようであまりよい顔をされません。そのせいか、その職業で将来自分はやっていけるのかというような不安を抱き始めています。親に進路はどうするのかと最近言われるようになり、自分でもよく分からなくなってきていました。ですが、今回山口先生のお話を聴いて、自分が何の勉強をしたくて、どんな先生に教わりたいかをもう一度、今度は具体的によく考えてみようと思えました。私は自分に自信がない上に面倒くさがりな所があるため、これまでいろいろなことから逃げて生きてきました。ですが、それではダメだと今まで心の中の端にあったものが山口先生のおかげで大きくなった気がします。これから、自分の将来から逃げることなく、しっかり考えて生きていきたいと思えました。私の話を長々と書いてしまい申し訳ありませんでした。山口先生、本当にありがとうございました。（2年女子）

今回の講演であらためて受験生としてがんばろうと思えました。最近の私は正直勉強していませんでした。学校で最後まで残って勉強しても、家ではまったくせず、ダラダラしていました。心の中では「こんなじゃ合格できない」と思っている、実際に行動に移すことができていなかった。未来のことを考えず、今、何したら楽しいかということしか考えていなかった。今回の講演で現実をつきつけられたような気がしました。最後の最後にお話しされたスマホを30分以上使用していた人の合格の割合に焦りを感じました。今までダラダラしていた私は今日から変わります。「大分大学福祉健康科学部に合格して、社会福祉士になる」という夢を絶対に叶えます。個別の相談会のときにくださったアドバイスを決して忘れません。今回の講演が聴けてよかったと心から思います。本当にありがとうございました。（3年女子）

今回、山口先生のお話を聴いて考え方が大きく変わりました。自分は1年次から具体的な進路が決まっておらず、また、学力も自信がなく最初からハードルを大きく下げていました。勉強法が分からなくて質問をすべき場面も部活があることを理由に分らないままにしてしまっていて、今とても苦しい思いをすることになってしまい、「もう一度入学当初からやり直したい」と思うことが最近よくあったのですが、先生のお話を聴いて、世間からしたらもう手遅れだと思われるかもしれないけど、この夏を使ってやれるだけやってみたいと思うようになりました。自分は、この学校で成績が悪いので山口先生の学生時代の話にはとても共感でき、今までの自分と照らし合わせることもできた気がします。今日は本当にありがとうございました。（3年男子）

山口先生の話は、今まで全く知らなかったものでどんな講師でどんな話をするのだろうかとか心から楽しみにしていました。資料はこれまでの講演の中で一番分厚く、指宿高校のためにここまで準備してくださったことを嬉しく思いました。先生の話で一番印象深かったのは、やはり“未来を拓く10の指針”です。タイムリーな話で、今の私に一番必要な話だったのでとても心を動かされました。様々な“合格必勝本”でモチベーションを上げてきましたが、それよりも、先生が話をしてくれた10の指針は説得力があり、行動していこうと思えました。私の親は、「県外はダメ」や「あんたには無理」など、否定的な言葉を並べてきます。しかし、今日のお話を聴いて、「今からでも遅くないんだ」と改めて決心ができました。本当は親に講演を聴いてもらいたかったのですが、それはできなかったもので、私自身の言葉で親と向きあおうと思います。短い時間でしたが、自分の意志が今までより固くなり、考えも大きく変えることができました。山口先生の講演をまたどこかで聴けるといいです。本当に今日はお忙しい中来てくださりありがとうございました。（3年女子）

